

# 第1学年生活科学学習指導案

平成24年11月8日(木)

矢巾町立矢巾東小学校

## ○子ども・指導者

第1学年1組(男子13名 女子17名 よつば学級2名 計32名) 松川 ナオ  
第1学年2組(男子13名 女子15名 よつば学級1名 計29名) 鈴木 晶子  
第1学年3組(男子12名 女子18名 よつば学級2名 計32名) 佐々木 圭子  
支援員 山子澤 晶恵(1・2組)  
支援員 佐藤 葉子(3組)

## ○時間・場所

第5校時(12:55~13:40)	第1学年1組 東児童館 (第2次 7/11)
	第1学年3組 教室 (第1次 1/11)
第6校時(14:00~14:45)	第1学年2組 東児童館 (第1次 5/11)

1 単元名 あきの おもちゃ だいしゅうごう (東京書籍)

## 2 単元について

### (1) 子どもについて

子ども達は、これまでに「がっこうだいすき」「なつだ いっしょにあそぼうよ」「いきものとなかよし」「たのしさいっぱい あきいっぱい」の学習で、校地内にあるビオトープや芝生広場など自然の中で繰り返し活動したり、休み時間に遊んだりする中で、自然とかかわりながら遊ぶ楽しさを実感している。また、春・夏の草花や樹木、生き物を観察する活動を通して、季節の変化を感じ自然の面白さや不思議さに興味・関心を高めてきている。さらに、自然物を使った遊びは、ほとんどの子どもが経験している。しかし、自然の物や身近な物を使って遊ぶ物を作ったり、みんなで遊んだりする経験は個人差が大きい。友達とかかわりについては、春や夏の活動を通して、互いに遊び方を教えたり一緒に遊んだりするようになってきた。特別支援学級の子ども達は、生活科の学習を通して交流を深め、友達や先生とかかわりながら活動を進められるようになってきている。教師や支援員は、活動の場面に応じて声掛けなど必要な支援を行っている。

### (2) 教材について

本単元は、学習指導要領内容(5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心を持ち、自分達の生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」と内容(6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」に基づいて設定したものである。

本単元では、季節の変化を味わいながら、秋の自然を利用して、工夫して楽しく遊び、遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しんだり、自分達の生活を楽しくしたりすることができることをねらいとしている。

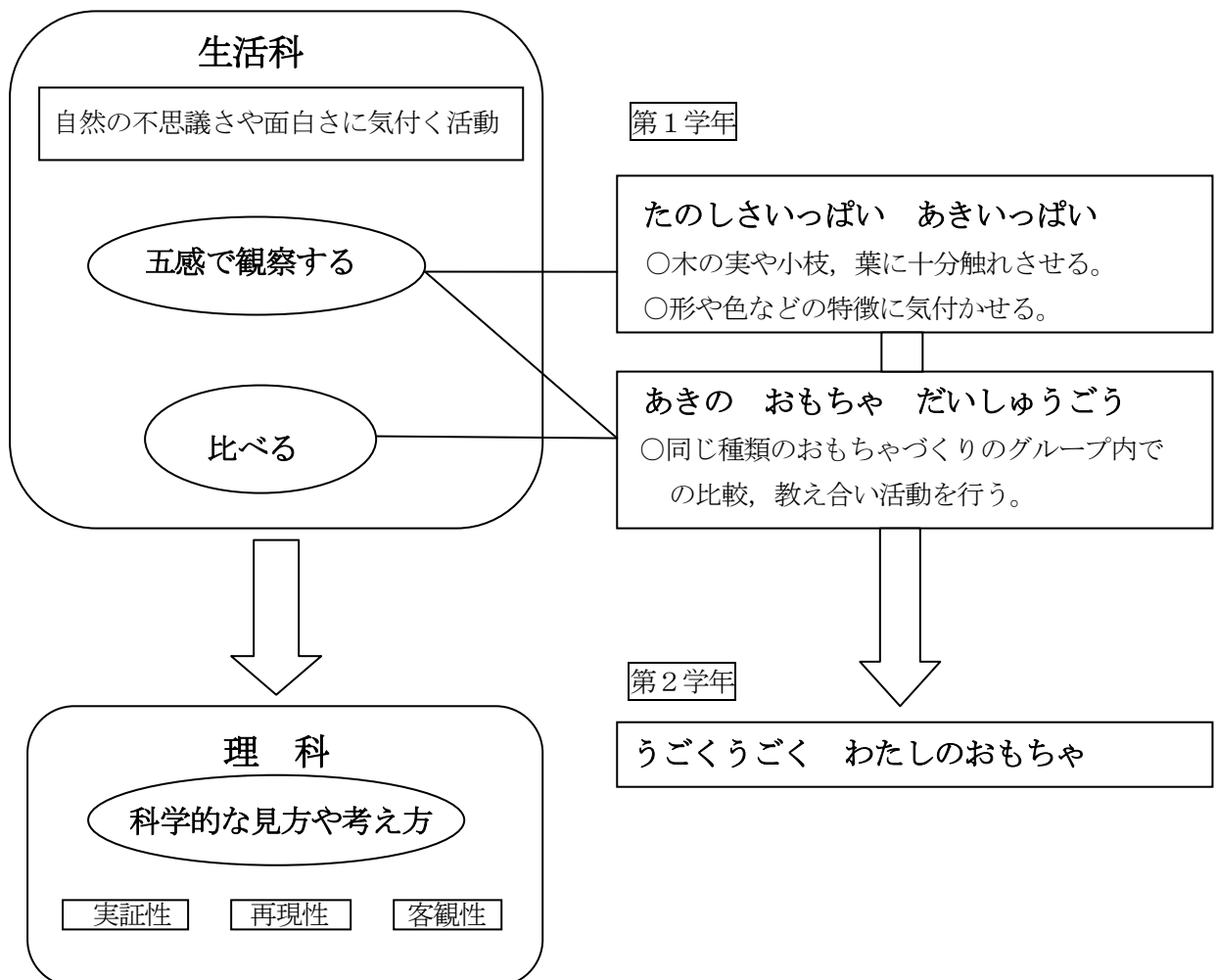
(3) 指導について

本単元では、木の実や葉など秋の自然を利用して、遊びに使うものを自分なりに工夫してついたり、みんなで遊んだりする活動を通して、自然や友達とかかわることの楽しさや自然の不思議さや面白さに気付かせたいと考える。そこで、前単元「たのしさいっぱい あきいっぱい」で集めた木の実や小枝、葉に十分触れさせ、形や色などの特徴に気付かせることによって、おもちゃづくりへの意欲につなげていく。ネックレスや絵などの飾りは、図工「しぜんとなかよし」の単元と関連させて扱い、本単元では、「おもちゃ」に絞り、遊びを考えさせていきたい。

第1次では、集めた素材の特徴などを生かしておもちゃをつくるために、試したり、教師のつくったおもちゃで遊んだりする活動を取り入れ、おもちゃづくりのイメージを膨らませられるようにしたい。おもちゃづくりをする際は、同じ種類のおもちゃをつくる子ども同士をグループにし、お互いに比べたり、教え合ったりすることで、遊び方を工夫したり改良したりすることができるようにする。また、学年で「おもちゃらんど」を開くこととし、相手意識をもたせて活動させたい。

第2次では、試し遊びや友達と遊びのルールを考える場を設定し、みんなで楽しく遊ぶことができるよう考えさせる。また、つくる過程や遊びを通して友達とのかかわりを深め、友達と一緒に遊ぶことの楽しさを味わわせたい。

(4) 理科との関連（本単元で培いたい科学的な見方・考え方の基礎）



### 3 単元目標と評価規準

#### (1) 単元目標

秋の校庭や公園で集めた葉や木の実を使って、おもちゃを工夫してつくったり、遊び方を工夫したりして、秋の遊びの面白さや自然の不思議さに気付き、安全に気を付けて、みんなで遊びを楽しむことができる。

#### (2) 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
秋の身近な自然を使って、遊んだり、遊びに使うものをつくらったりすることに関心を持ち、みんなで楽しく遊ぼうとしている。	秋の自然を利用して遊びを考えたり、遊びに使うものを自分なりに工夫してつくり、みんなが楽しく遊べるように遊びの約束やルールを考えたりしながら、みんなで楽しく遊んでいる。	秋の自然を利用して遊んだり、遊びに使うものをつくらったりする面白さや、自然の不思議さ、秋の自然を使ってみんなで遊ぶことの楽しさに気付いている。

#### (3) 単元の指導と評価の計画（全11時間）

次	学習活動	教師の指導・支援	評価規準及び評価方法
第一次	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">あきのみやはであそぼう。</div> ○自分達の集めたどんぐりや落ち葉を使って遊び、つくってみたいものを話し合う。 （3組 本時 1/11）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品例を提示したり、教科書や資料を提示したりして、製作への意欲を高めさせる。</li> <li>・つくってみたい作品や、遊んでみたいおもちゃについて話し合わせる。</li> <li>・単元全体のめあてを考えさせる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【関心・意欲・態度】 行動観察・発言</div>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">あきのおもちゃをつくろう。</div> ○秋の自然物を使って、おもちゃをつくってみる。 （2・3/11）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた葉や木の実を机の上に広げ、子どもに十分触らせ、おもちゃづくりの発想を高めるようにする。</li> <li>・自然物の色や形を生かしている子どもを取り上げ、称賛し、全体に広める。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【思考・表現】 行動観察・発言</div>
あきのおもちゃ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">あきのおもちゃをしようかいしよう。</div> ○おもちゃの紹介の準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・紹介の仕方</li> <li>・役割分担</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ種類のものをつかった子ども同士でグループにし、グループ毎に遊び方の紹介について話し合わせる。</li> <li>・必要な役割や、準備物について考えさせ、必要に応じて支援する。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【気付き】 観察・発言</div>

<p>をつくろう 6時間</p>	<p>○つくったものを紹介し合い、みんなで楽しく遊ぶ。</p> <p>○感想や意見をもとに、おもちゃの工夫・改良をする。 (2組 本時 5/11) (4・5・6/11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全種類のおもちゃを体験できるようにする。</li> <li>・競争できるおもちゃは、競い合う場を用意して、子ども同士の交流を促す。</li> <li>・友達から聞いたことを、自分のおもちゃの改良に生かすよう声掛けをする。</li> </ul>	<p><b>【気付き】</b> 行動観察・発言</p> <p><b>【思考・表現】</b> 行動観察・作品</p>
<p>第二次 みんな</p>	<p>あきのおもちゃらんどのおもちゃのじゅんぴをしよう。</p> <p>○みんなで楽しく遊ぶために、遊びの約束を決めたり、会の準備をしたりする。 (1組 本時 7/11) (7・8/11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「みんな」「楽しく」をキーワードに、話し合いをさせる。</li> <li>・遊びの名前や内容だけでなく、遊び方を説明する看板をつくることを通して、遊びの約束を整理させる。</li> </ul>	<p><b>【思考・表現】</b> 行動観察・発言・看板等</p>
<p>あそぼう 4時間</p>	<p>あきのおもちゃらんどであそぼう。</p> <p>○学年で、自分や友達のおもちゃを交流し合い、みんなで遊びを楽しむ。 (9・10/11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくり方や遊び方の工夫したところをお互いに話し、お互いのおもちゃの良さを教え合う。</li> <li>・おもちゃを改良するコーナーをつくらせておき、遊びの途中で随時改良しても良いことを伝えておく。</li> </ul>	<p><b>【気付き】</b> 行動観察・発言</p>
<p>第三次 つたえあおう 1時間</p>	<p>おもちゃらんどについて、つたえよう。</p> <p>○秋のおもちゃを使ってみんなで遊び、楽しかったことや気付いたことを記録カードにかく。 (11/11)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊んで気付いたこと、工夫したことを、記録カードにかくよう声掛けをする。</li> </ul>	<p><b>【思考・表現】</b> 行動観察・発言・ワークシート</p>

4 本時の学習指導

(1) 第1次 1時間目 (5校時 3組授業)

ア 本時の目標

学校や家の周りで集めた葉や木の実などの、自然の材料を使って遊んだり遊びに使うものをつくったりすることに関心をもち、おもちゃをつくらうとしている。

イ 本時の指導にあたって

仮説1：対象との出会いを工夫することで、興味・関心をもち意欲的に活動を進めていくことができるだろう。

手立て：対象との出会いの工夫

- ・自然の物を使ったおもちゃの提示をし、おもちゃづくりへの意欲化を図る。
- ・集めた自然の物を自由に選んだり試したりできる材料コーナーや試しコーナーを設定する。

ウ 本時の評価規準

【関心・意欲・態度】

○自分たちで集めた葉や木の実などの材料や教師が提示したおもちゃで、遊んだり試したりしながらイメージを膨らませ、自然の材料を使って遊んだり遊びに使うものをつくったりすることに関心をもち、おもちゃをつくらうとしている。

【努力を要する子どもへの手立て】

○提示したおもちゃで遊んだり、集めた材料に触れたりすることで、形や色などの面白さなどに着目させ、おもちゃのイメージを膨らませることができるようにする。

エ 本時の展開 (第1次 第1時)

段階	学 習 活 動 ☆言語活動	教師の指導・支援 ※特別支援学級児童への支援	備 考
であう 15分	1 前単元の活動を振り返る。 ・いろいろな葉や木の実を集めたことを振り返る。  2 本時の活動を確認する。 あきのみや はで あそぼう。	・秋を探しに行つて見つけたことや、遊んで楽しかったことを話し合う。 ・写真など様子の分かるものを提示する。 ・本時の学習内容について確かめ、意欲付けをする。	○焦点化・視覚化―(写真)
かかわる 25分	3 みんなで遊ぶ。 ・教師がつくったおもちゃで遊ぶ。 ・集めた材料を使って、遊ぶ。  4 ☆つくってみたいおもちゃについて話し合う。	・自然の素材を使ったおもちゃやゲームを提示し、遊んでみることによりおもちゃづくりへの関心を高める。 ・自由に試してみることができる材料コーナーや試しコーナーを設ける。 ・自由に材料に触れさせ、おもちゃづくりのイメージをもたせる。 ※A 児, B 児を中心に活動を見守りながら、作業が進まない児童には声掛けをする。 ・何を使って、どんなおもちゃをつくりたいか	○時間の構造化―活動の流れ(掲示物) ○場の構造化―(コーナー)

		<p>話すようにさせる。</p> <p>・遊びの種類に分けて板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【関心・意欲・態度】</b></p> <p>自分たちで集めた葉や木の実などの材料や教師が提示したおもちゃで遊び、自然の材料を使って遊んだり遊びに使うものをつくったりすることに関心を持ち、おもちゃをつくらうとしている。</p> </div>	○個別化— 板書（種類ごと色分け）
まとめ 5分	<p>5 ☆本時の活動の振り返りをする。</p> <p>・感想を話す。</p> <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<p>・自分のしたいこと等、思いや願いを話すようにさせる。</p> <p>・活動の見通しや相手意識をもたせる。</p>	

オ 板書計画

あきのみや はで あそぼう。

おもちゃらんどを ひらこう。

(活動の流れ)

(写真)

(写真)

- ・どんぐりとがっているまわる
- ・まつぼっくりボールみたい

・みんなであそびたい。

**(2) 第1次 5時間目 (6校時 2組授業)**

ア 本時の目標

つくったおもちゃで友達に遊んでもらったり友達と競争したりする中で、もっと楽しく遊べるように、つくり方や遊び方を工夫し、みんなで遊びを楽しむことができる。

イ 本時の指導にあたって

仮説2：思いや願いを基に活動や体験を工夫することで、いろいろな気づきを引き出すことができるだろう。

手立て：いろいろな気づきを引き出すための工夫

- ・遊びを交代させて、全員が体験を共有できるようにさせる。
- ・どんなところが楽しかったか、こうすればもっと楽しめるという気づきを促す声掛けを行う。

ウ 本時の評価規準

**【気づき】**

○自分や友達のつくったおもちゃで友達とかかわりながら遊び、形や色などを生かしたおもちゃのつくり方や遊び方の工夫をすると、楽しく遊べることに気付いている。

**【努力を要する子どもへの手立て】**

○子どもと一緒におもちゃで遊びながら友達とかかわらせたり、おもちゃの遊び方やつくり方に目を向けさせたりすることで、友達と遊ぶ楽しさやおもちゃの面白さに気付かせることができるようにする。

エ 本時の展開 (第1次 第5時)

段階	学 習 活 動 ☆言語活動	教師の指導・支援 ※特別支援学級児童への支援	備 考
であう 5分	1 本時の学習のめあてを確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">あきのおもちゃを しょうかいしよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時につくったおもちゃを取り上げ、活動への興味関心を高める。</li> <li>・本時の学習内容について確かめ、活動への意欲付けをする。</li> </ul>	○前時の想起の視覚化ー(実物提示)
かわる 35分	2 活動の見通しをもつ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どんなところが楽しかったか」「どうすればもっと楽しめるか」を見付けることを確かめる。</li> <li>・おもちゃの種類ごとに遊び方のプレゼンテーションを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動時間、活動内容を掲示する。</li> <li>・安全面、約束などを確かめる。</li> <li>・五感カードを使って、五感を働かせて活動することを意識させる。</li> </ul>	○活動の視点の視覚化ー(掲示物)

	<p>3 前半と後半に分かれて遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>遊びながら改良できるところがあれば改良してもよいことにする。</li> </ul> <p>4 ☆遊んでみて、楽しかったことや改良した方がよいところを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「どんなところが楽しかったか」、「こうすればもっと楽しめる」、などを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交代し、十分に遊べる時間を確保する。</li> <li>遊ぶときは学習カードを持ち、遊んだらシールを貼ってもらい、どの遊びも体験させる。</li> </ul> <p>※A児を中心に活動を見守りながら、支援が必要な児童に活動を促したり、安全確保を行ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>気付いたことは、マグネットで表示する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【気付き】</b> 自分や友達のつくったおもちゃで友達とかかわりながら遊び、形や色などを生かしたつくり方や遊び方の工夫をすると、楽しく遊べることに気付いている。</p> </div>	
<p>ま と め る 5 分</p>	<p>5 本時の活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>感想を話す。</li> </ul> <p>6 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>視点を示しながら、自分の頑張りや活動のよさを振り返り、発表させる。</li> </ul>	

オ 板書計画

あきのおもちゃを しょうかいしよう。

※おもちゃのタイトル

	○グループ	○グループ	○グループ	○グループ
どんなことが たのしかったか				
こうすれば もっとたのしめる				

<ふりかえり>

○たのしかったことをみつけましたか。

○こうすればもっとたのしめるをみつけましたか。



### (3) 第2次 1時間目 (5校時 1組授業)

ア 本時の目標

みんなで楽しく遊ぶために、遊びのルールや約束を考えたり、会場の準備について話し合ったりすることができる。

イ 本時の指導にあたって

仮説3：活動や体験を生かした振り返りを工夫することで、新たな気付きを見いだすことができるであろう。

手立て：言語活動の充実

・前時までの活動を基に、「みんなで」「楽しく」をキーワードに、学年おもちゃらんどで必要な約束や準備について話し合うことができるようにする。

ウ 本時の評価規準

【思考・表現】

○「みんなで」「楽しく」というキーワードで自分達の遊びの約束、必要な準備について、グループの友達と話し合っている。

【努力を要する子どもへの手立て】

○友達の考えた遊び方のルールを理解させるとともに、一緒に試し遊びをしながら、遊びのルールについて考えられるようにしていく。

エ 本時の展開 (第2次 第1時)

段階	学 習 活 動 ☆言語活動	教師の指導・支援 *特別支援学級児童への支援	備考
であう	1 本時の学習のめあてを確認する。  あきのおもちゃらんどの じゅんぴをしよう。	・写真や掲示を基に、前時の様子を思い起こさせ、自分の遊びについて考えさせる。	○視覚化 (紙板書、 写真) 学 習シート
5分	2 話し合いのキーワードを確認する。 「みんなで」「たのしく」	・本時の学習内容について確かめ、活動への意欲付けをする。	ホワイト ボード
かわる 32分	3 ☆遊びのルールや約束について話し合う。 ・グループで話し合い、よりよい遊び方を見付ける。 ・全グループが約束を決めたら、発表する。  4 ☆遊びの準備や必要な役割について話し合う。 ・役割を決めたら、グループ毎に名前入りマグネットをホワイトボードに貼る。	・用具等の場所や安全面、約束について確認する。 ・「みんなで」「楽しく」という遊びに創り上げられるよう、話し合いの支援をしていく。  ※A児、B児を中心に活動を見守りながら、友達とのかかわり合いを支援し、安全確保を行う。(支援員)	○活動の 流れの 視覚化 —(紙板 書)  ○視覚化 —役割 の決定

	<p>5 学年おもちゃらんだの準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びの看板やルール，約束について画用紙にかく。</li> <li>・グループ毎に，必要なものを用意する。</li> </ul>	<p><b>【思考・表現】</b></p> <p>「みんなで」「楽しく」というキーワードで，グループで自分達の遊びの約束，必要な準備について，友達と話し合っている。</p>	<p>(名前入りマグネット)</p>
<p>まとめ 8分</p>	<p>6 ☆本時の活動の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価をする。</li> <li>・感想を発表する。</li> </ul> <p>7 次時の学習の見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の活動を振り返り，学習シートに記入させる。</li> </ul>	<p>○焦点化—学習シート</p>

オ 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>おもちゃらんだの じゅんぴをしよう。</p> </div> <p>〈やくそくのぼいんと〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで</li> <li>・たのしく</li>   <li>・あんぜんにあそぶ</li> </ul> <p>〈やくわり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ほしいやくわり</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>おもちゃらんだのやくそくとやくわり</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 15%;">○○○ グループ</td> <td style="width: 15%;">○○○ グループ</td> <td style="width: 15%;">○○○ グループ</td> <td style="width: 15%;">○○○ グループ</td> </tr> <tr> <td>やくそく</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>〈ふりかえり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○あそびのやくそくを はなしあえましたか。</li> <li>○おもちゃらんだのやくわりを きめましたか。</li> </ul>		○○○ グループ	○○○ グループ	○○○ グループ	○○○ グループ	やくそく					○○					○○					○○				
	○○○ グループ	○○○ グループ	○○○ グループ	○○○ グループ																						
やくそく																										
○○																										
○○																										
○○																										